

食味向上に向けた飛驒「コシヒカリ」の安定栽培技術の開発

- 実施期間：平成31～令和5年度
- 担当部署：土壌化学部、中山間農業研究所（本所）
- 区分：重点研究・県単

○研究内容

米の食味への関心が高まる中、飛驒「コシヒカリ」は食味に関するランキングやコンクール等で高い評価を受け、知名度やブランド力が高まっています。一方、地域全体では食味にばらつきが見られており、地域全体で良食味「コシヒカリ」を安定生産できる栽培技術の確立が求められています。

本研究課題では、栽培管理のうち米の食味値に大きく影響する施肥管理について、これまでの経験と勘に頼った施肥からの改善に向けて、土壌から供給される窒素（可給態窒素）に基づく施肥技術と新たなセンシング機器を活用した生育診断に応じた施肥技術の開発を目指します。

当センターでは、主に可給態窒素について、近年開発された簡易・迅速評価法の飛驒地域の水田土壌での適用法や、可給態窒素を加味した施肥技術の開発を進めます。

